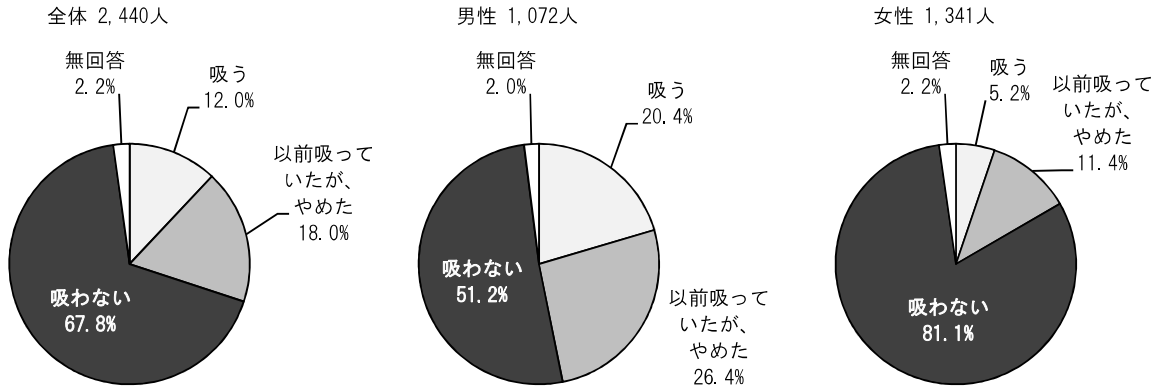


5 たばこについて

問 20 あなたは、たばこを吸いますか。(〇は1つだけ)

喫煙状況は、「吸わない」が67.8%、「吸う」が12.0%となっています。
性別にみると、男女とも「吸わない」が最も高く、女性(81.1%)は男性(51.2%)より有意に高くなっています。

図 20.1 喫煙状況〔全体・性別〕**



たばこを「吸う」割合をH24年調査と比較すると、20歳以上全体では2.9ポイント減少しています。男性30歳代、80歳以上は6.8ポイント、70歳代は5.9ポイント減少しています。女性20歳代は8.6ポイント、40歳代は6.8ポイント、30歳代は5.3ポイント減少しています。

表 20 たばこを「吸う」割合〔経年比較〕

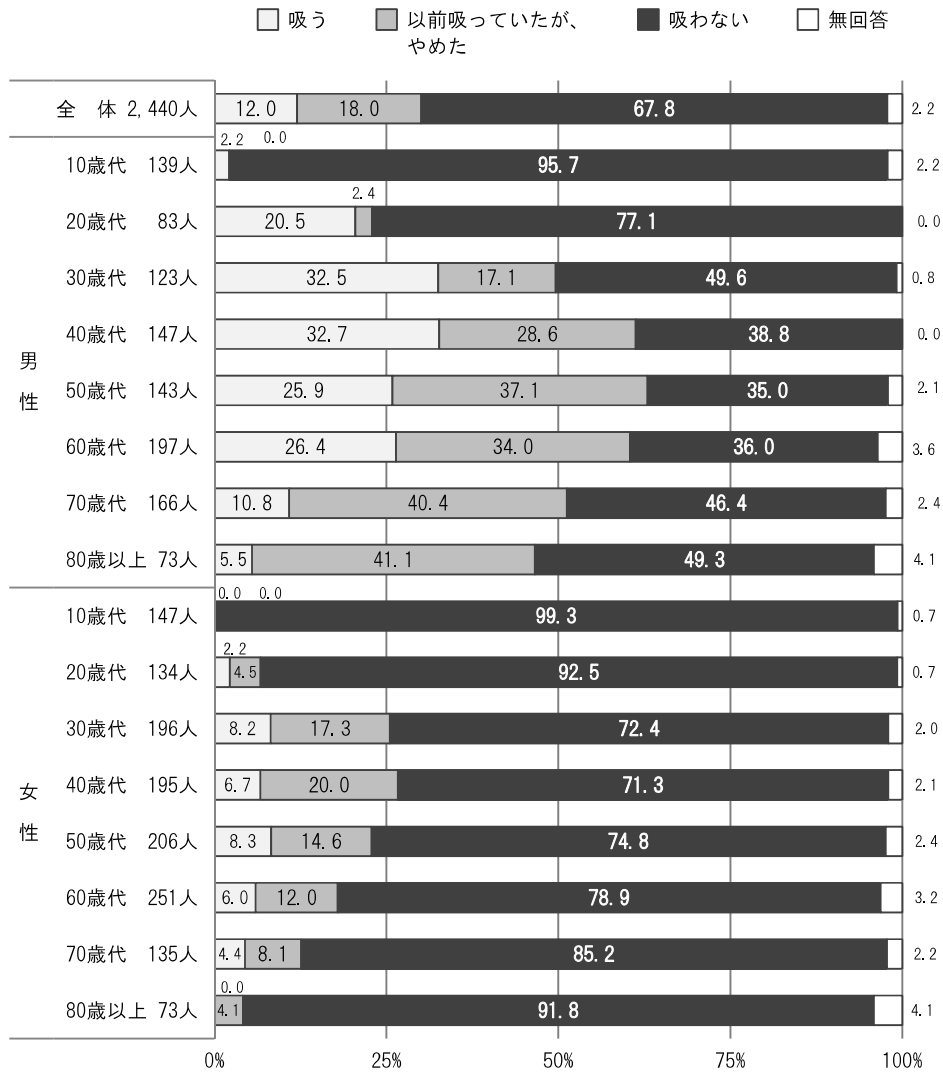
単位：%、ポイント

項目	今回調査	H24年調査	H17年調査	H14年調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H17年調査	今回調査－ H14年調査
20歳以上全体	13.5	16.4	20.0	24.2	-2.9	-6.5	-10.7
20歳以上男性	23.2	24.8			-1.6		
20歳代	20.5	20.4	34.9	52.2	0.1	-14.4	-31.7
30歳代	32.5	39.3	44.1	48.9	-6.8	-11.6	-16.4
40歳代	32.7	35.3	41.7	46.6	-2.6	-9.0	-13.9
50歳代	25.9	25.2	40.7	42.6	0.7	-14.8	-16.7
60歳代	26.4	25.5	30.6	34.5	0.9	-4.2	-8.1
70歳代	10.8	16.7	22.4	29.9	-5.9	-11.6	-19.1
80歳以上	5.5	12.3	—	23.5	-6.8	—	-18.0
20歳以上女性	5.9	9.3			-3.4		
20歳代	2.2	10.8	15.3	21.3	-8.6	-13.1	-19.1
30歳代	8.2	13.5	13.0	14.8	-5.3	-4.8	-6.6
40歳代	6.7	13.5	16.2	18.5	-6.8	-9.5	-11.8
50歳代	8.3	7.5	14.5	14.2	0.8	-6.2	-5.9
60歳代	6.0	8.9	9.2	8.3	-2.9	-3.2	-2.3
70歳代	4.4	3.8	3.5	6.6	0.6	0.9	-2.2
80歳以上	0.0	1.6	—	2.2	-1.6	—	-2.2
19歳以下全体	1.0	1.5	6.2	18.1	-0.5	-5.2	-17.1
男性	2.2	2.5	8.3	25.4	-0.3	-6.1	-23.2
女性	0.0	0.7	4.8	12.4	-0.7	-4.8	-12.4

喫煙状況を性・年代別にみると、男性の「吸う」割合は、40歳代（32.7%）が最も高く、次いで30歳代（32.5%）、60歳代（26.4%）、50歳代（25.9%）が有意に高くなっています。「以前吸っていたがやめた」割合は80歳以上（41.1%）が最も高く、次いで70歳代（40.4%）となっています。

女性の「吸う」割合は、50歳代（8.3%）が最も高く、次いで30歳代（8.2%）となっています。

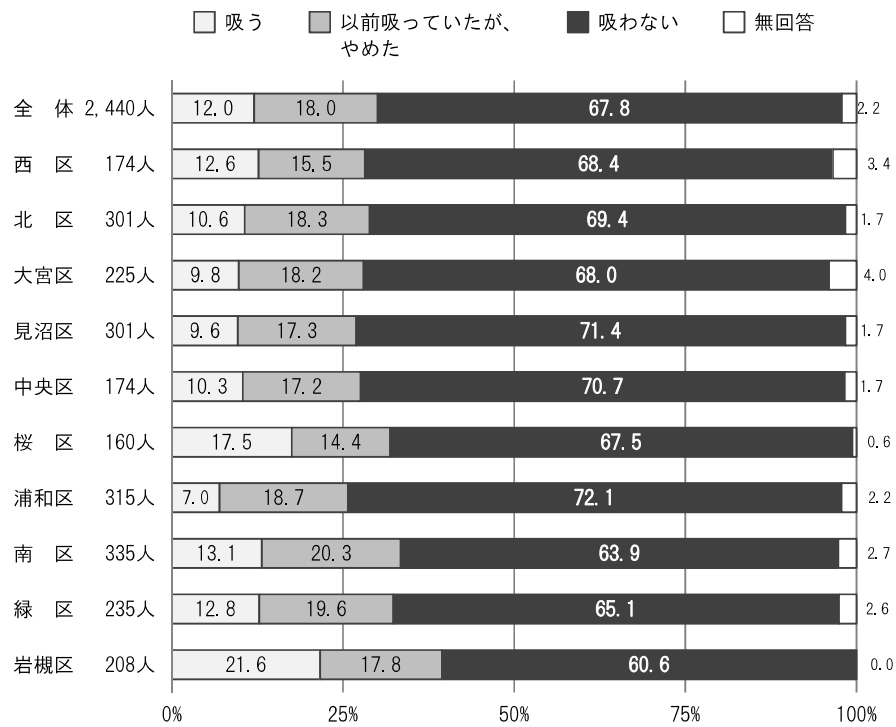
図 20.2 喫煙状況〔性・年代別〕**



Ⅲ 調査結果

喫煙状況を居住区別にみると、「吸う」割合は「岩槻区」(21.6%)が他の区より有意に高くなっています。一方、「浦和区」(7.0%)が他の区より有意に低くなっています。

図 20.3 喫煙状況〔居住区別〕**



計画における数値目標のデータ



成人の喫煙率（喫煙をやめたい人がやめる）

- 男性 23.2% 女性 5.9%
- <問 20 で「吸う」と答えた人の割合>



未成年者の喫煙率

- 全体 1.0%
- <問 20 で「吸う」と答えた人の割合>

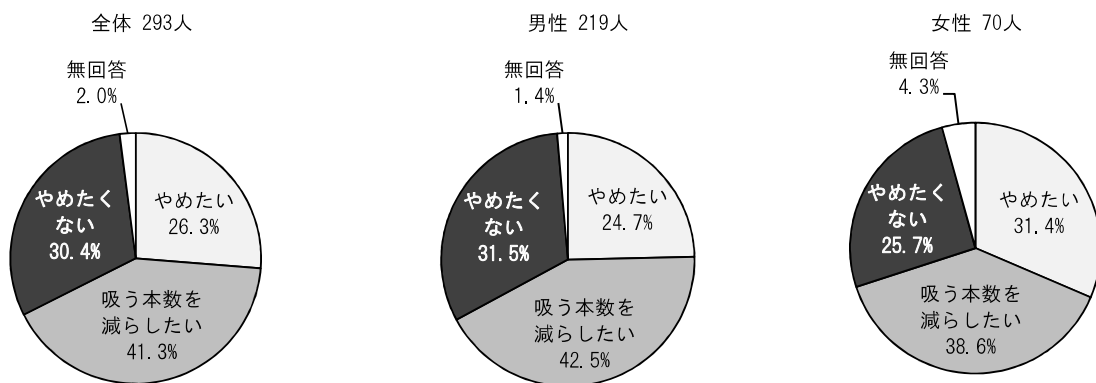
【問 20 で「吸う」とお答えの方のみ】

問 20-2 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。（○は1つだけ）

たばこをやめたいと思うかについて、「吸う本数を減らしたい」が41.3%、「やめたくない」が30.4%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

図 20-2.1 今後の禁煙の希望〔全体・性別〕



たばこをやめたいと思うかについて、H24年調査と比較すると、「やめたい」割合は8.2ポイント減少しています。

表 20-2 今後の禁煙の希望〔経年比較〕

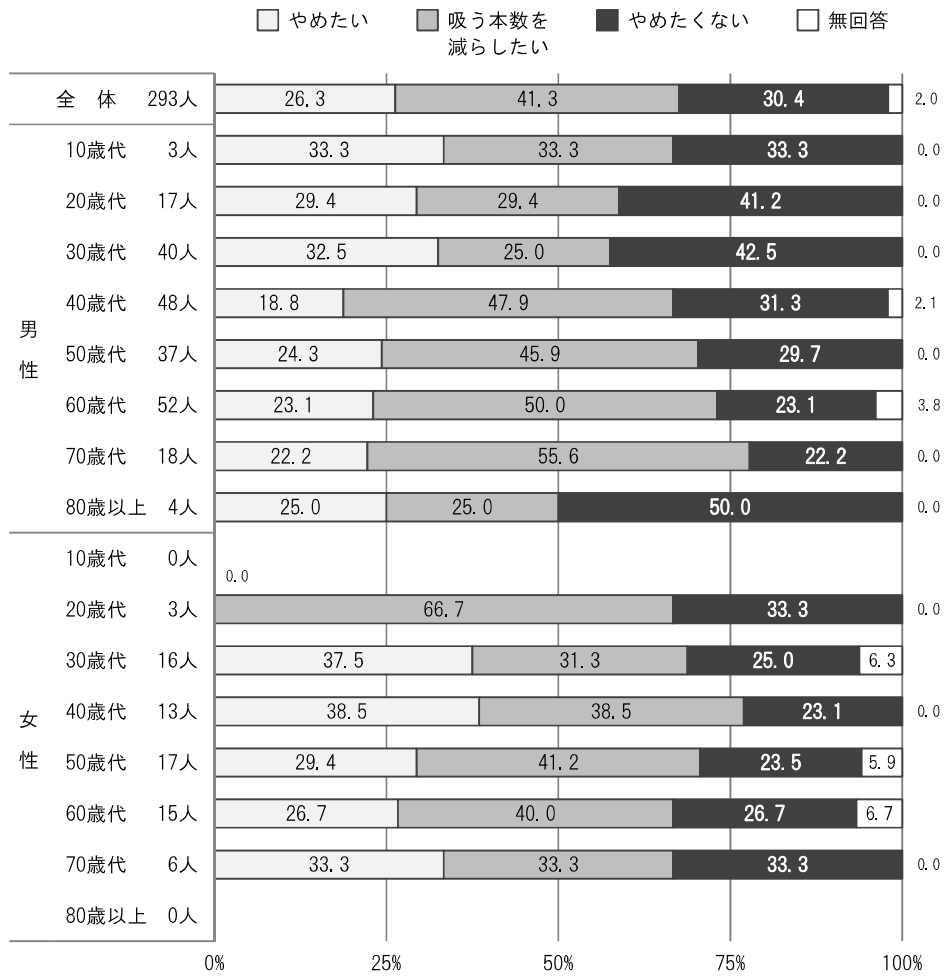
単位：%、ポイント

項目	今回調査	H24年調査	H17年調査	H14年調査	今回調査－ H24年調査	今回調査－ H17年調査	今回調査－ H14年調査
やめたい	26.3	34.5	32.9	26.3	-8.2	-6.6	0.0
吸う本数を減らしたい	41.3	38.7	43.5	50.4	2.6	-2.2	-9.1
やめたくない	30.4	23.4	21.8	21.9	7.0	8.6	8.5
無回答	2.0	3.4	1.8	1.5	-1.4	0.2	0.5

Ⅲ 調査結果

たばこをやめたいと思うかについて性・年代別にみると、男性 40～70 歳代では「吸う本数を減らしたい」割合が 40%を超えています。

図 20-2.2 今後の禁煙の希望〔性・年代別〕



【問 20 で「吸う」とお答えの方のみ】

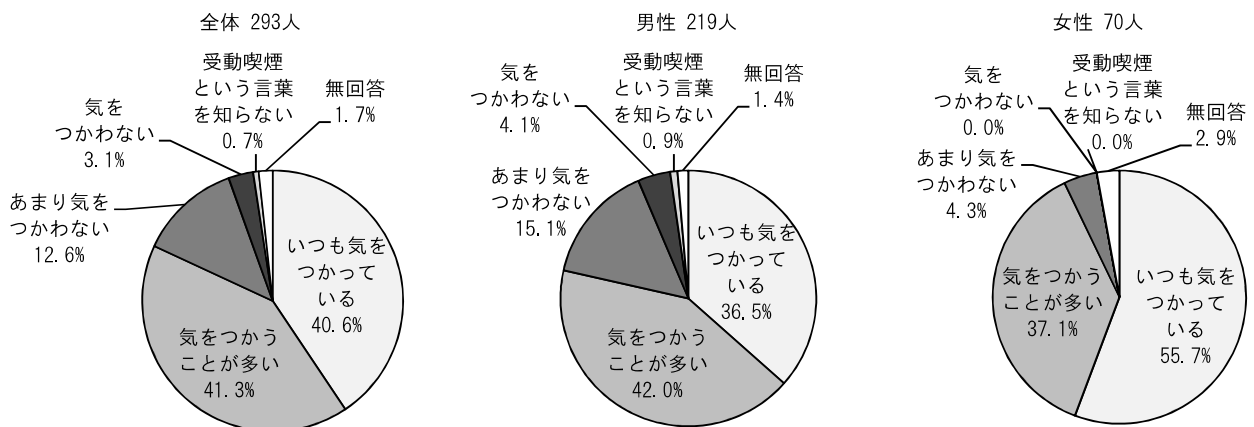
問 20-3 たばこを吸うときに周囲の人の受動喫煙に気がついていますか。

(〇は1つだけ)

たばこを吸う人が周囲の人の受動喫煙に気がついているかについて、「気がつかうことが多い」が41.3%で最も高く、次いで「いつも気がついている」が40.6%となっています。

性別にみると、男性は「気がつかうことが多い」が42.0%で最も高く、女性は「いつも気がついている」が55.7%で最も高くなっており、男性より有意に高くなっています。

図 20-3.1 受動喫煙に気がついているか【全体・性別】**



たばこを吸う人が周囲の人の受動喫煙に気がついているかについて、H24年調査と比較すると、「いつも気がついている」が2.7ポイント増加し、「気がつかうことが多い」が2.2ポイント減少、「あまり気がつかわない」が1.3ポイント増加しています。

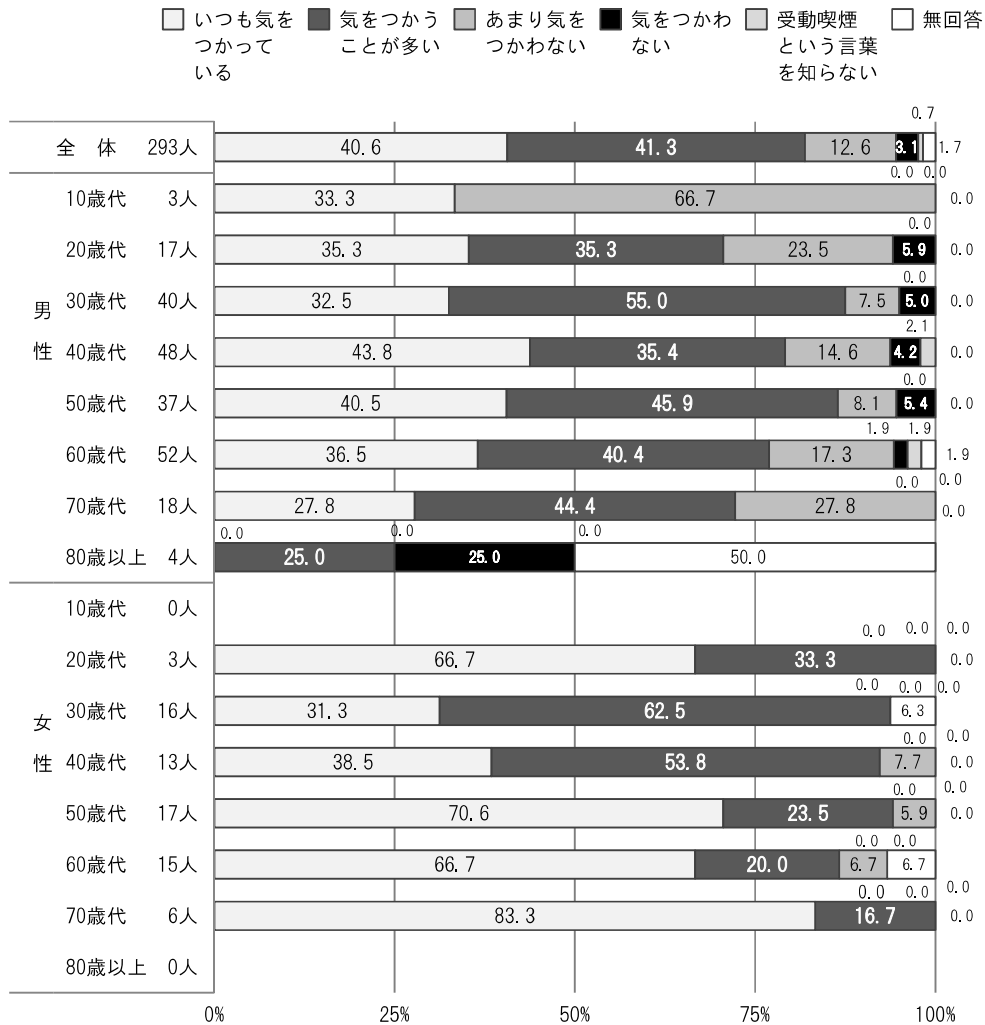
表 20-3 受動喫煙に気がついているか【経年比較】単位：%、ポイント

項目	今回調査	H24年調査	今回調査－ H24年調査
いつも気がついている	40.6	37.9	2.7
気がつかうことが多い	41.3	43.5	-2.2
あまり気がつかわない	12.6	11.3	1.3
気がつかわない	3.1	3.1	0.0
受動喫煙という言葉知らない	0.7	1.7	-1.0
無回答	1.7	2.5	-0.8

Ⅲ 調査結果

たばこを吸う人が周囲の人の受動喫煙に気がつかっているかについて、性・年代別にみると、男性の「いつも気をつかっている」割合は、40歳代が43.8%で最も高く、次いで50歳代が40.5%、60歳代が36.5%となっています。

図 20-3.2 受動喫煙に気がつかっているか〔性・年代別〕



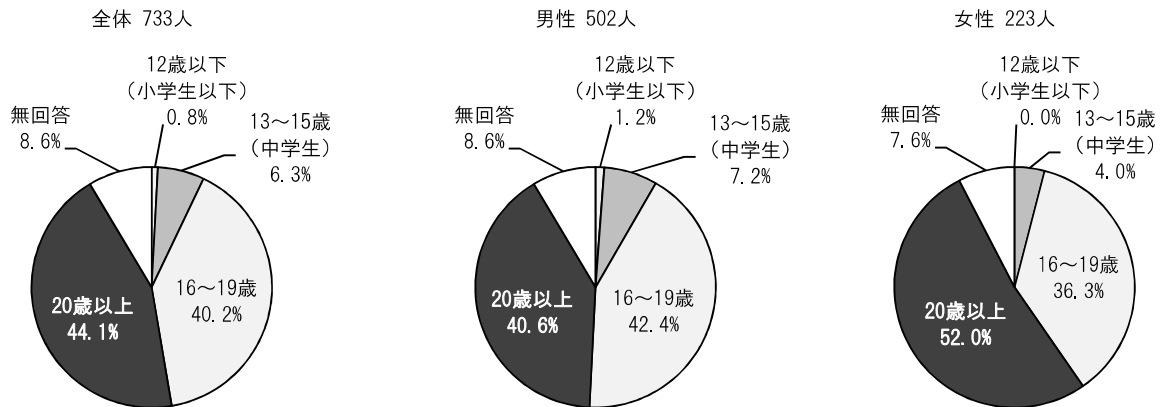
【問 20 で「吸う」「以前吸っていたが、やめた」とお答えの方のみ】

問 20-4 あなたが、はじめてたばこを吸ったのは何歳ですか。(〇は1つだけ)

はじめてたばこを吸った年齢は、「20歳以上」が44.1%で最も高く、次いで「16～19歳」が40.2%となっています。

性別にみると、男性は「16～19歳」が42.4%で最も高く、女性は「20歳以上」が52.0%で最も高く、男性より有意に高くなっています。

図 20-4 はじめてたばこを吸った年齢〔全体・性別〕*



はじめてたばこを吸った年齢をH24年調査と比較すると、「16～19歳」が3.4ポイント減少しています。

表 20-4 はじめてたばこを吸った年齢〔経年比較〕 単位：%、ポイント

項目	今回調査	H24年調査	今回調査－ H24年調査
12歳以下 (小学生以下)	0.8	1.2	-0.4
13～15歳 (中学生)	6.3	9.0	-2.7
16～19歳	40.2	43.6	-3.4
20歳以上	44.1	43.2	0.9
無回答	8.6	3.0	5.6

Ⅲ 調査結果

問 21 あなたは、COPD（慢性閉塞性肺疾患）について知っていますか。

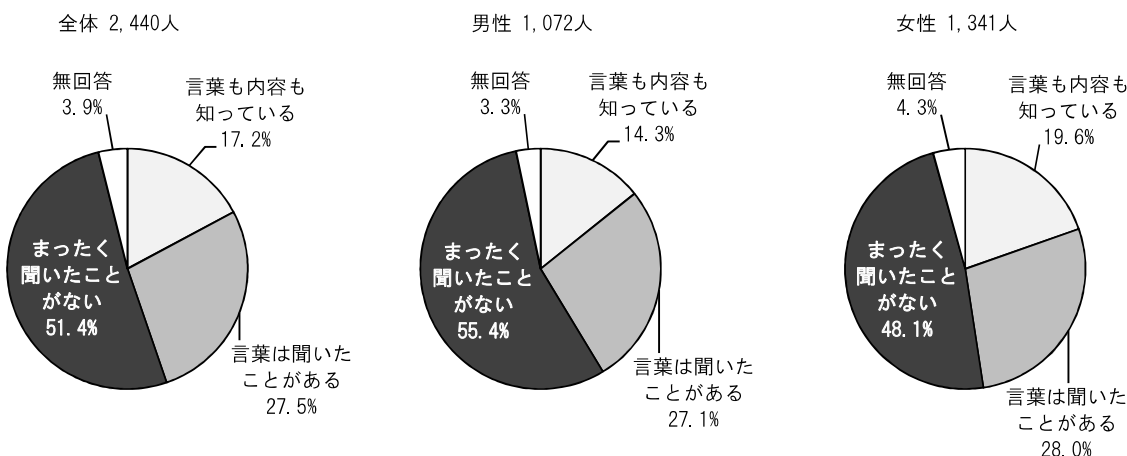
（○は1つだけ）

※COPDとは…病名ではなく、肺気腫や慢性気管支炎などの閉塞性肺疾患などの総称

COPDの認知度は、「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせると44.7%となっています。

性別にみると、男女とも「まったく聞いたことがない」が最も高くなっており、女性は「言葉も内容も知っている」（19.6%）が男性より有意に高くなっています。

図 21.1 COPDの認知度【全体・性別】**



計画における数値目標のデータ



COPDを知っている人の割合

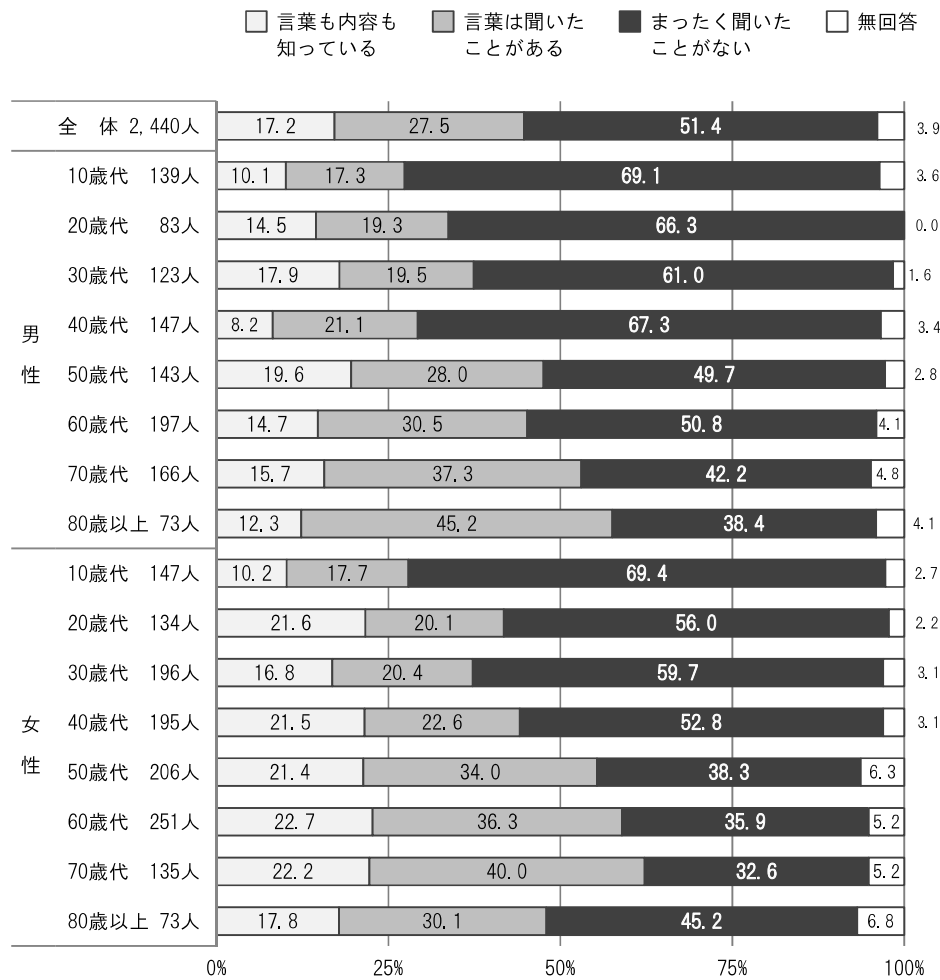
・全体 44.7%

<問 21 で「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがある」と答えた人の割合>

COPDの認知度を性・年代別にみると、男性の「まったく聞いたことがない」割合は、10歳代（69.1%）が最も高く、次いで40歳代（67.3%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。「言葉は聞いたことがある」割合は80歳以上（45.2%）が最も高く、次いで70歳以上（37.3%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

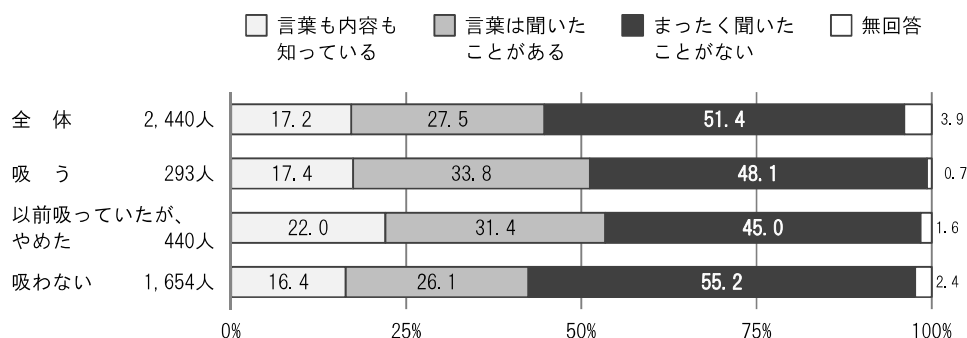
女性の「まったく聞いたことがない」割合は10歳代（69.4%）が最も高く、他の年代より有意に高くなっています。「言葉は聞いたことがある」割合は70歳代（40.0%）が最も高く、次いで60歳代（36.3%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

図 21.2 COPDの認知度〔性・年代別〕**



COPDの認知度を喫煙状況別にみると、「言葉も内容も知っている」割合は「以前吸っていたがやめた」(22.0%)が有意に高く、「まったく聞いたことがない」割合は「吸わない」(55.2%)が有意に高くなっています。

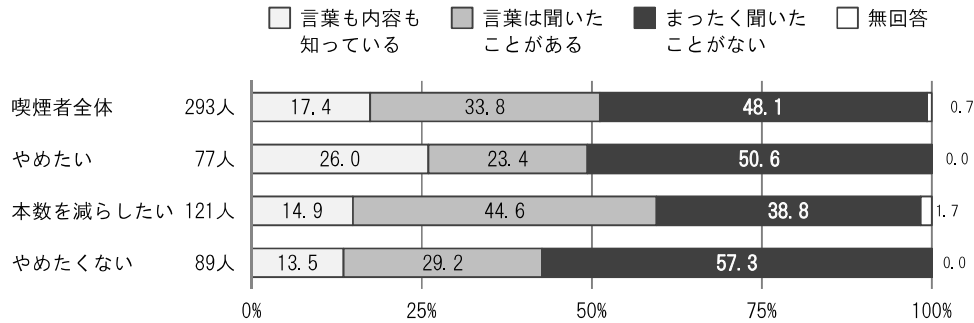
図 21.3 COPDの認知度〔喫煙状況別〕**



Ⅲ 調査結果

COPDの認知度を、たばこを吸う人の今後の禁煙の希望別にみると、「言葉も内容も知っている」割合は「やめたい」(26.0%)が最も高く、「まったく聞いたことがない」割合は「やめたくない」(57.3%)が最も高くなっています。また、「言葉は聞いたことがある」割合は「本数を減らしたい」(44.6%)が有意に高くなっています。

図 21.4 COPDの認知度〔今後の禁煙の希望別〕**



COPDを知っている割合をH24年調査と比較すると、全体では3.0ポイント増加しています。男性80歳以上は20.5ポイント、70歳代は16.5ポイント増加し、40歳代は13.6ポイント減少しています。女性80歳以上は24.1ポイント、70歳代は9.6ポイント増加し、30歳代は7.6ポイント減少しています。

表 21 COPDを知っている割合〔経年比較〕

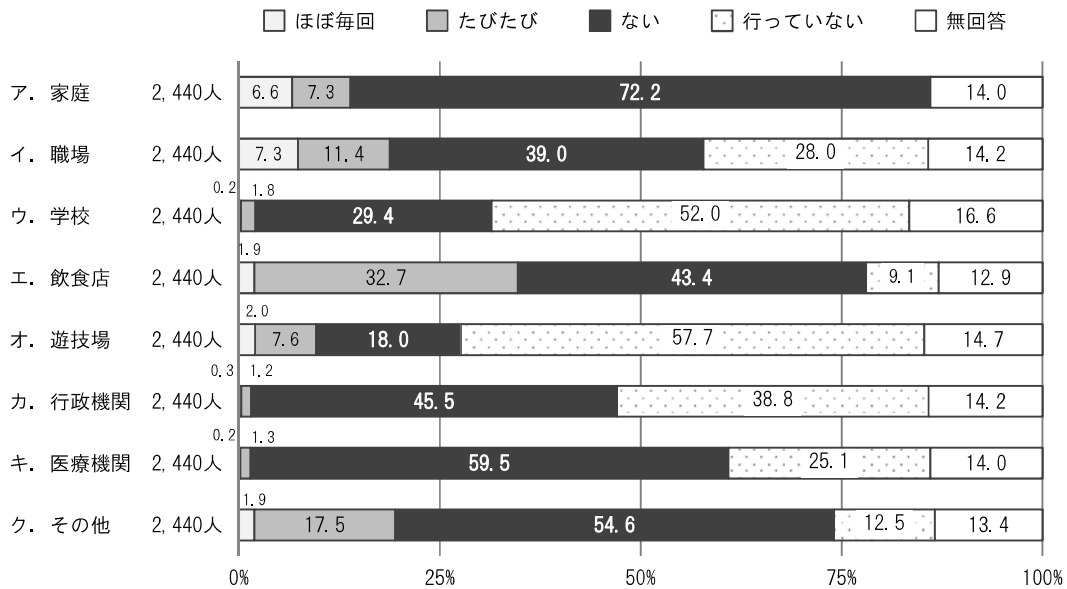
単位：%、ポイント

項目	今回調査			H24年調査			今回調査－H24年調査 A－B
	言葉も内容も知っている (1)	言葉は聞いたことがある (2)	A = (1) + (2)	内容もよく知っている (3)	名前は聞いたことがある (4)	B = (3) + (4)	
全体	17.2	27.5	44.7	9.9	31.8	41.7	3.0
男性計	14.3	27.1	41.4	7.8	29.0	36.8	4.6
10歳代	10.1	17.3	27.4	0.8	22.7	23.5	3.9
20歳代	14.5	19.3	33.8	5.6	25.0	30.6	3.2
30歳代	17.9	19.5	37.4	9.3	23.4	32.7	4.7
40歳代	8.2	21.1	29.3	4.2	38.7	42.9	-13.6
50歳代	19.6	28.0	47.6	14.5	29.6	44.1	3.5
60歳代	14.7	30.5	45.2	8.8	31.9	40.7	4.5
70歳代	15.7	37.3	53.0	7.3	29.2	36.5	16.5
80歳以上	12.3	45.2	57.5	9.6	27.4	37.0	20.5
女性計	19.6	28.0	47.6	11.5	34.2	45.7	1.9
10歳代	10.2	17.7	27.9	4.2	21.1	25.3	2.6
20歳代	21.6	20.1	41.7	12.2	28.8	41.0	0.7
30歳代	16.8	20.4	37.2	14.1	30.7	44.8	-7.6
40歳代	21.5	22.6	44.1	14.0	30.9	44.9	-0.8
50歳代	21.4	34.0	55.4	14.1	41.2	55.3	0.1
60歳代	22.7	36.3	59.0	10.2	44.5	54.7	4.3
70歳代	22.2	40.0	62.2	12.2	40.4	52.6	9.6
80歳以上	17.8	30.1	47.9	3.2	20.6	23.8	24.1

問 22 あなたは、この1ヶ月間に以下の場所で、自分以外の人が吸っているたばこの煙を吸う機会がありましたか。(〇はア〜ク、それぞれに1つつ)

自分以外の人たばこの煙を吸う機会(受動喫煙)について、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると「飲食店」が34.6%で最も高く、次いで「その他」が19.4%、「職場」が18.7%となっています。

図 22.1 受動喫煙の機会〔全体〕



計画における数値目標のデータ



受動喫煙の機会を有する人の割合

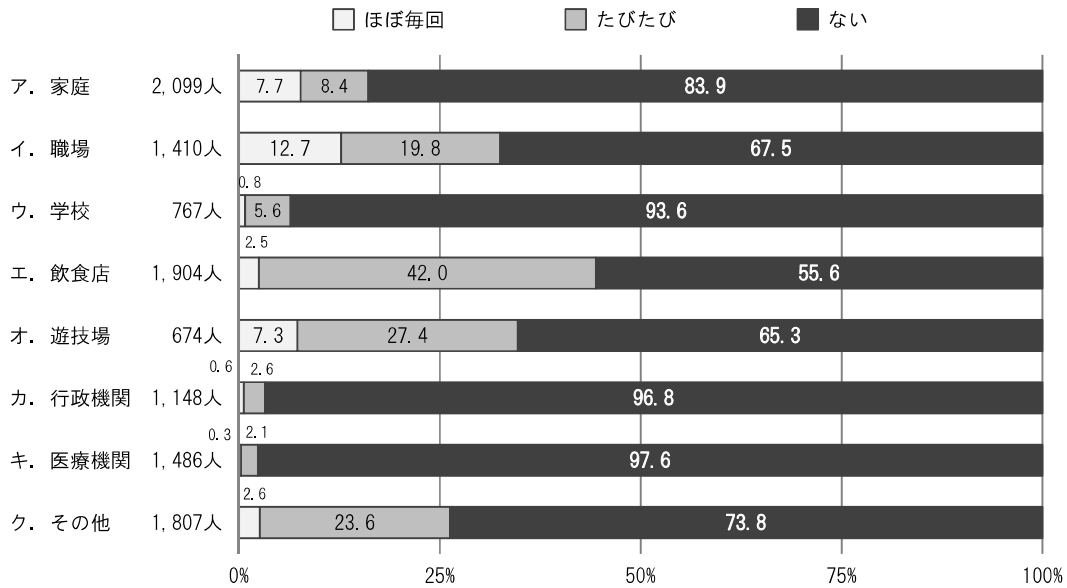
- ・家庭 13.9%
- ・職場 18.7%
- ・学校 2.0%
- ・飲食店 34.6%
- ・遊技場 9.6%
- ・行政機関 1.5%
- ・医療機関 1.4%

<問 22 で「ほぼ毎回」「たびたび」と答えた人の割合>

Ⅲ 調査結果

「行っていない」「無回答」を除いて、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、「飲食店」が44.5%で最も高く、次いで「遊技場」が34.7%、「職場」が32.5%となっています。

図 22.2 受動喫煙の機会〔行った人全体〕



注)「ア. 家庭」は「無回答」を除いた割合、イ〜クは「行っていない」「無回答」を除いた割合

「行っていない」「無回答」を除いて、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合をH24年調査と比較すると、「医療機関」以外は減少しており、特に「遊技場」が11.7ポイント、「飲食店」が7.5ポイント、「職場」が5.8ポイント減少しています。

表 22 受動喫煙の機会があった割合（行った人）〔経年比較〕 単位：%、ポイント

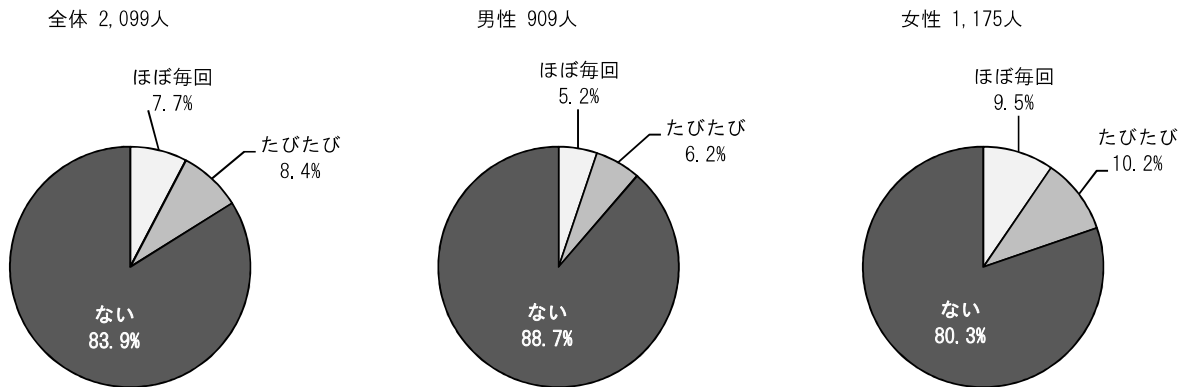
項目	今回調査	H24年調査	今回調査－H24年調査
ア. 家庭	16.1	21.0	-4.9
イ. 職場	32.5	38.3	-5.8
ウ. 学校	6.4	10.3	-3.9
エ. 飲食店	44.5	52.0	-7.5
オ. 遊技場	34.7	46.4	-11.7
カ. 行政機関	3.2	5.9	-2.7
キ. 医療機関	2.4	2.4	0.0
ク. その他	26.2	27.6	-1.4

ア. 家庭（「無回答」を除く）

「家庭」での受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たばたび」を合わせると 16.1%となっています。

性別にみると、女性は「ほぼ毎回」（9.5%）、「たばたび」（10.2%）が男性より有意に高くなっています。

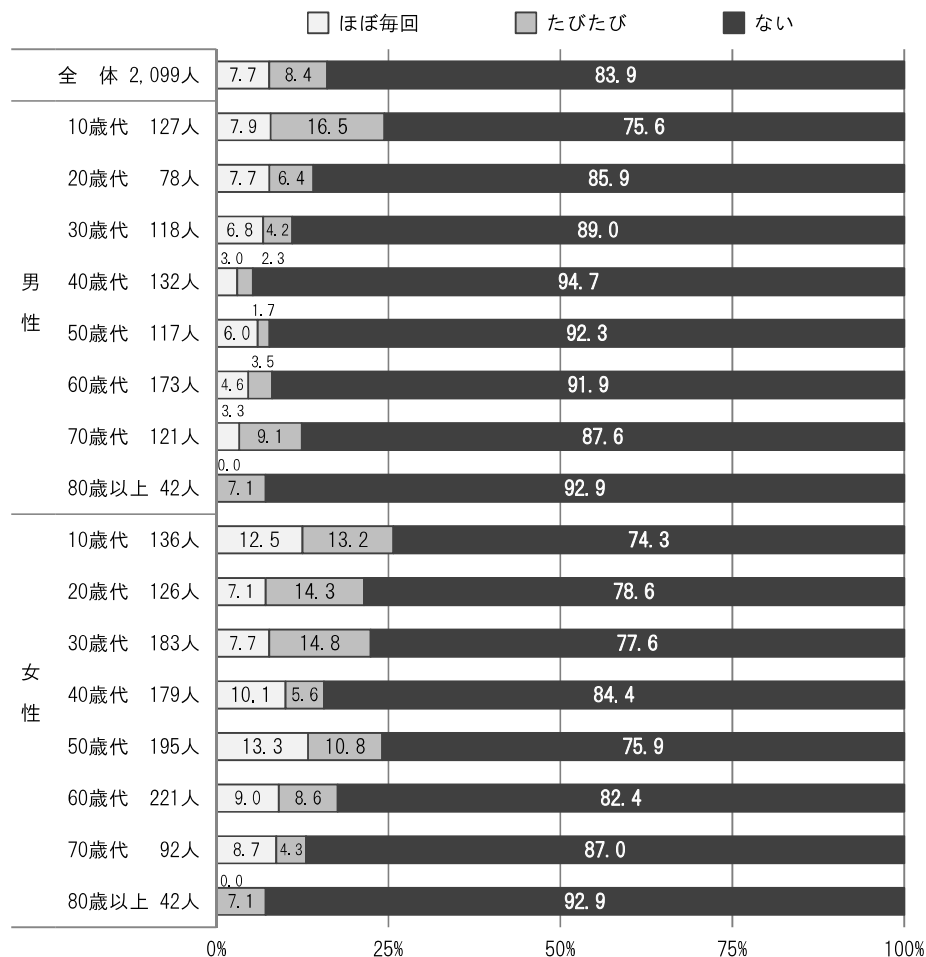
図 22-ア.1 家庭での受動喫煙〔全体・性別〕**



「家庭」での受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たばたび」を合わせた割合は、10歳代（24.4%）が最も高くなっています。

また、女性の「ほぼ毎回」「たばたび」を合わせた割合は、10歳代（25.7%）が最も高く、次いで50歳代（24.1%）、30歳代（22.5%）となっています。

図 22-ア.2 家庭での受動喫煙〔性・年代別〕**



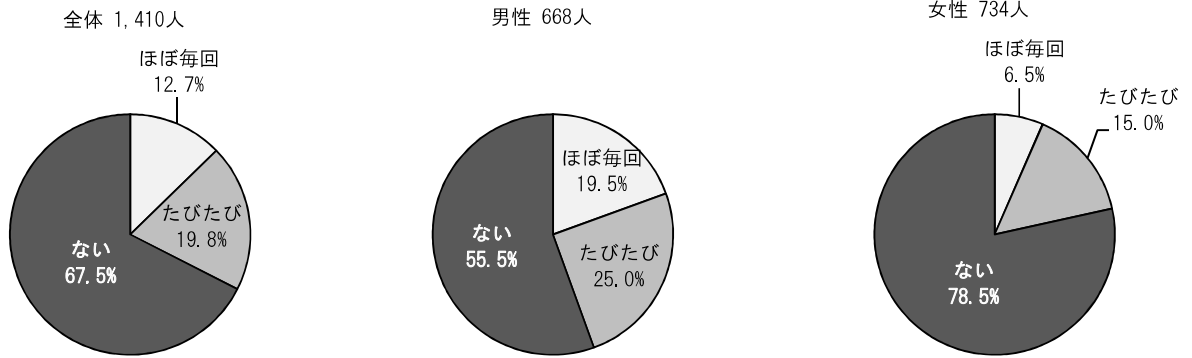
Ⅲ 調査結果

イ. 職場（「行っていない」「無回答」を除く）

「職場」に行った人の受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると 32.5% となっています。

性別にみると、男性は「ほぼ毎回」（19.5%）、「たびたび」（25.0%）が女性より有意に高くなっています。

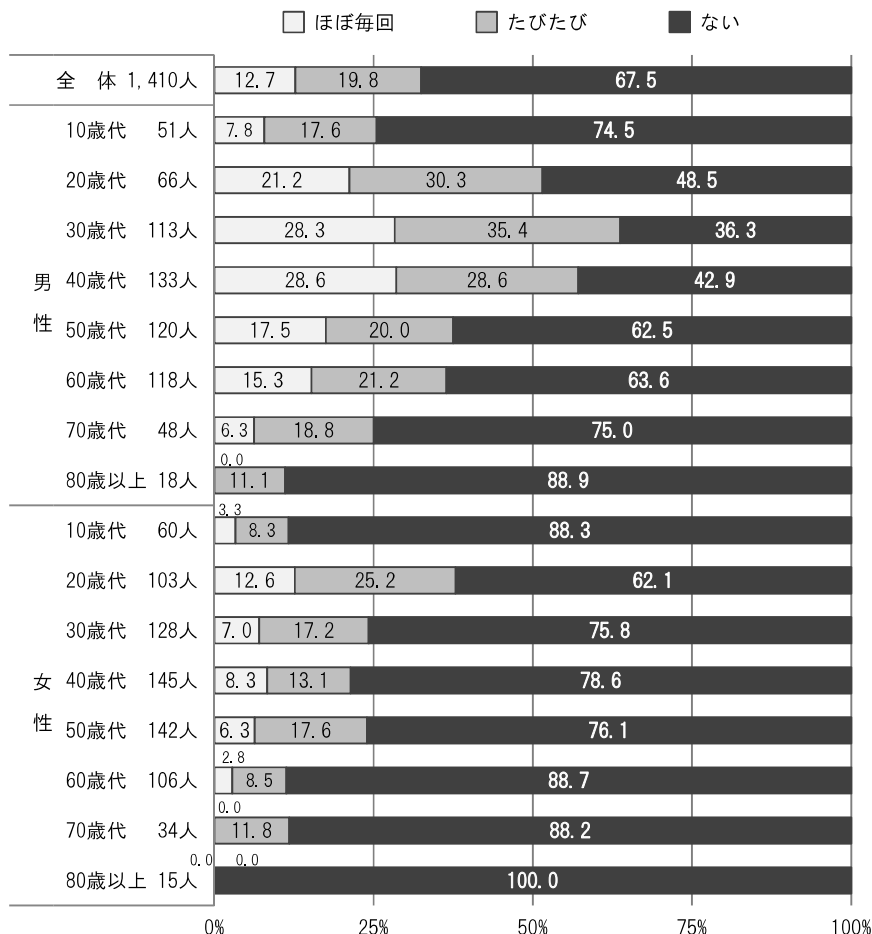
図 22-イ.1 職場での受動喫煙〔全体・性別〕**



「職場」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、30 歳代（63.7%）が最も高く、次いで 40 歳代（57.2%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

また、女性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、20 歳代（37.8%）が最も高く、次いで 30 歳代（24.2%）、50 歳代（23.9%）となっています。

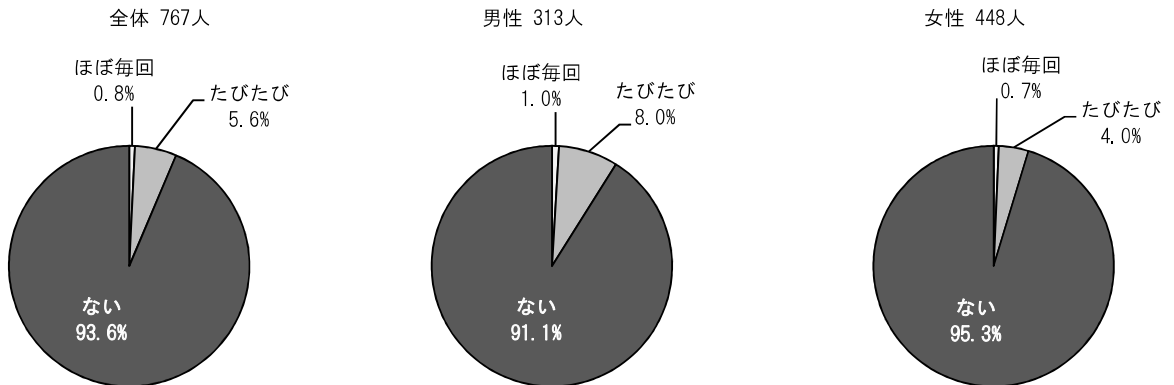
図 22-イ.2 職場での受動喫煙〔性・年代別〕**



ウ. 学校 (「行っていない」「無回答」を除く)

「学校」に行った人の受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると6.4%となっています。性別にみると、大きな差はみられません。

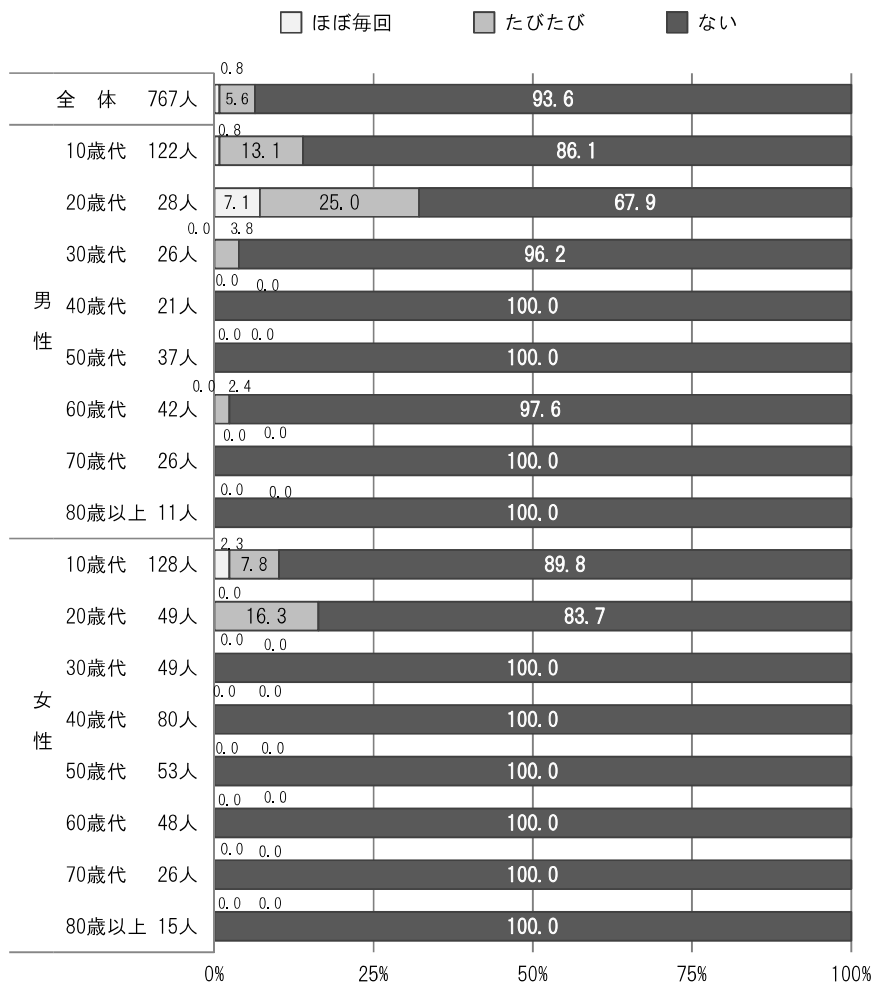
図 22-ウ.1 学校での受動喫煙〔全体・性別〕



「学校」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、20歳代(32.1%)が最も高く、次いで10歳代(13.9%)となっており、他の年代より有意に高くなっています。

女性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、20歳代(16.3%)が最も高く、次いで10歳代(10.1%)となっており、他の年代より有意に高くなっています。

図 22-ウ.2 学校での受動喫煙〔性・年代別〕**



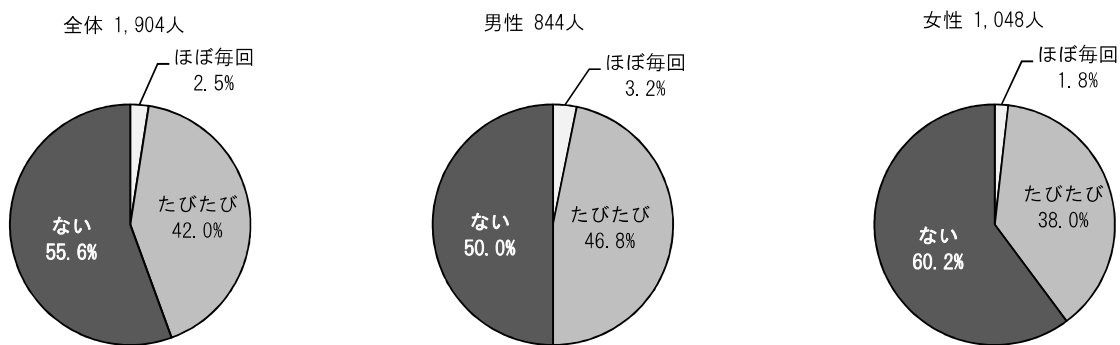
Ⅲ 調査結果

エ. 飲食店（「行っていない」「無回答」を除く）

「飲食店」に行った人の受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると 44.5% となっています。

性別にみると、男性は「たびたび」（46.8%）が女性より有意に高くなっています。

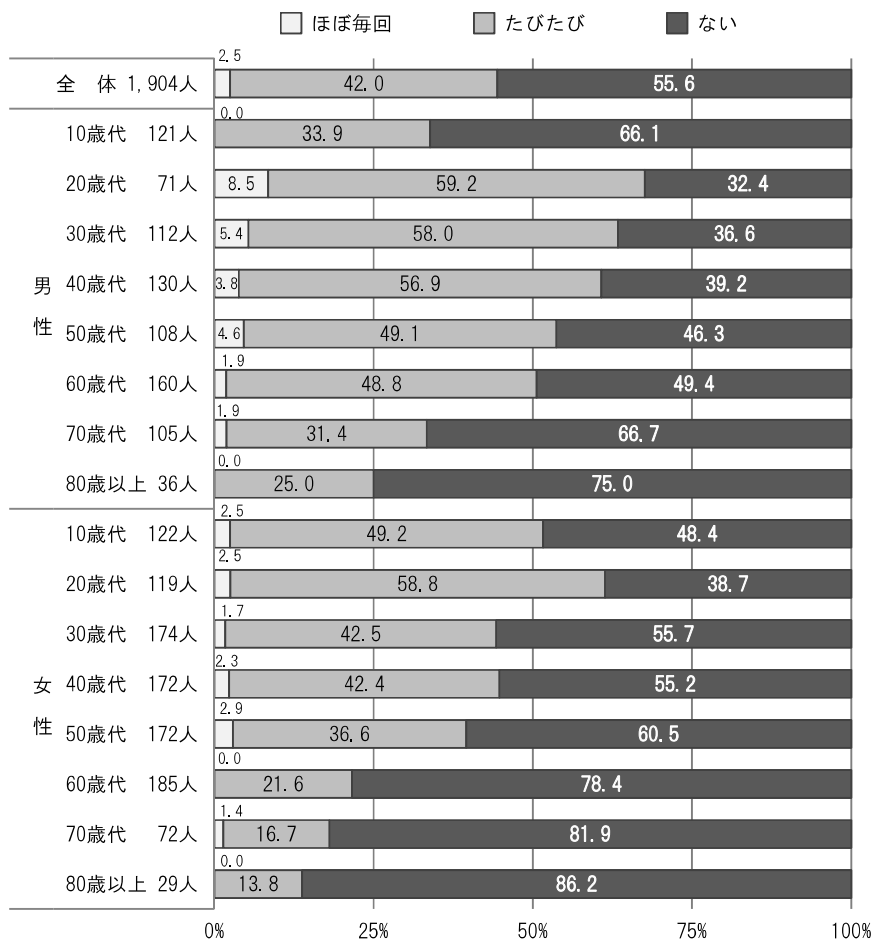
図 22-エ.1 飲食店での受動喫煙【全体・性別】**



「飲食店」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、20 歳代（67.7%）が最も高く、次いで 30 歳代（63.4%）、40 歳代（60.7%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

また、女性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、20 歳代（61.3%）が最も高く、他の年代より有意に高くなっています。また、60 歳以上は「ない」が他の年代より有意に高くなっています。

図 22-エ.2 飲食店での受動喫煙【性・年代別】**

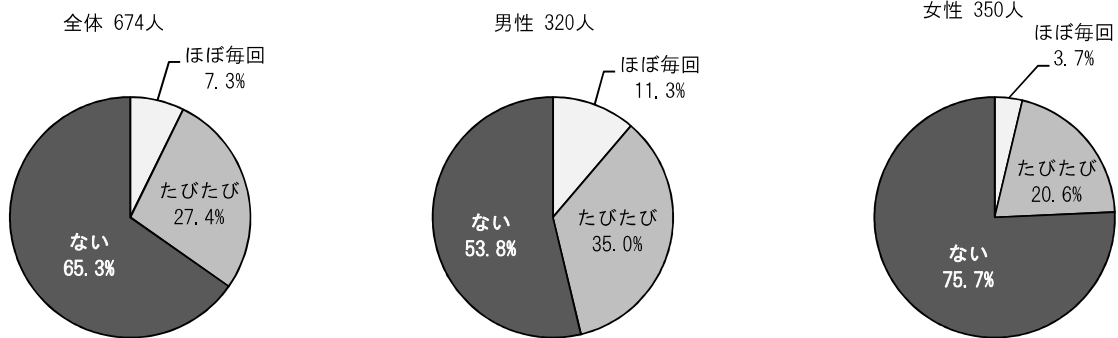


オ. 遊技場（ゲームセンター、パチンコなど）（「行っていない」「無回答」を除く）

「遊技場」に行った人の受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると 34.7% となっています。

性別にみると、男性は「ほぼ毎回」（11.3%）、「たびたび」（35.0%）が女性より有意に高くなっています。

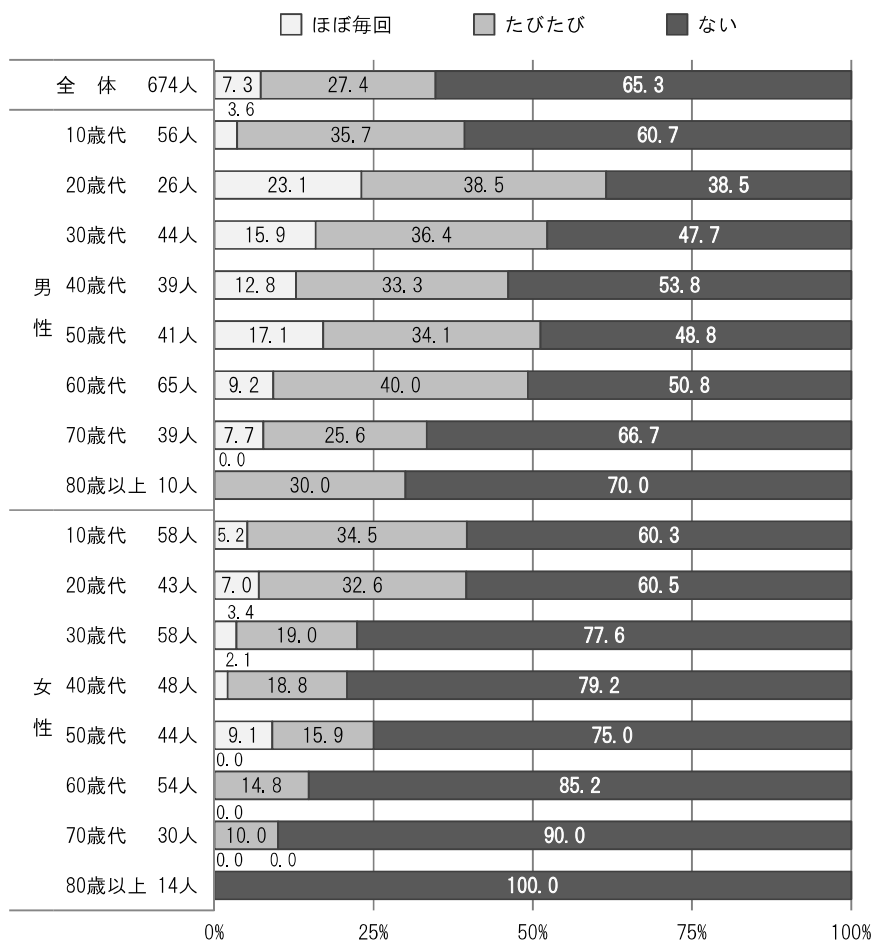
図 22-オ.1 遊技場での受動喫煙〔全体・性別〕**



「遊技場」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は 20 歳代（61.6%）が最も高く、次いで 30 歳代（52.3%）、50 歳代（51.2%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

女性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は 10 歳代（39.7%）が最も高く、次いで 20 歳代（39.6%）となっています。また、60 歳以上は「ない」が他の年代より有意に高くなっています。

図 22-オ.2 遊技場での受動喫煙〔性・年代別〕**

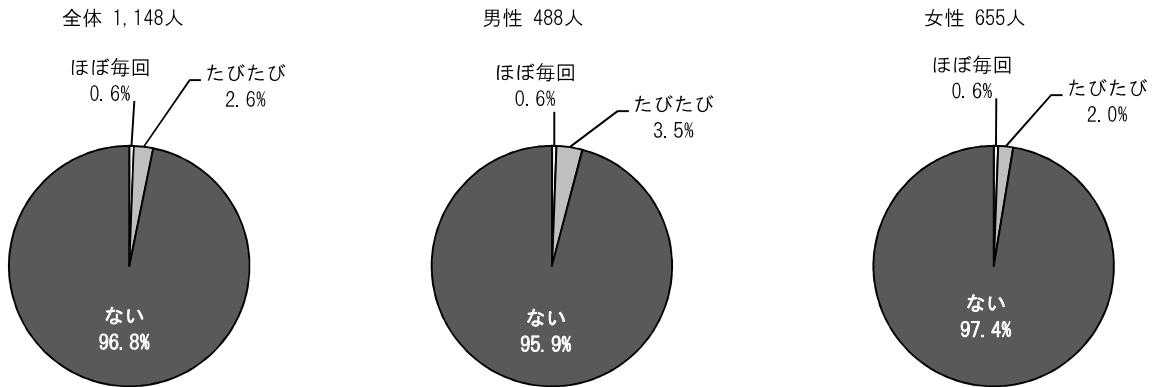


Ⅲ 調査結果

カ. 行政機関（市役所、公民館など）（「行っていない」「無回答」を除く）

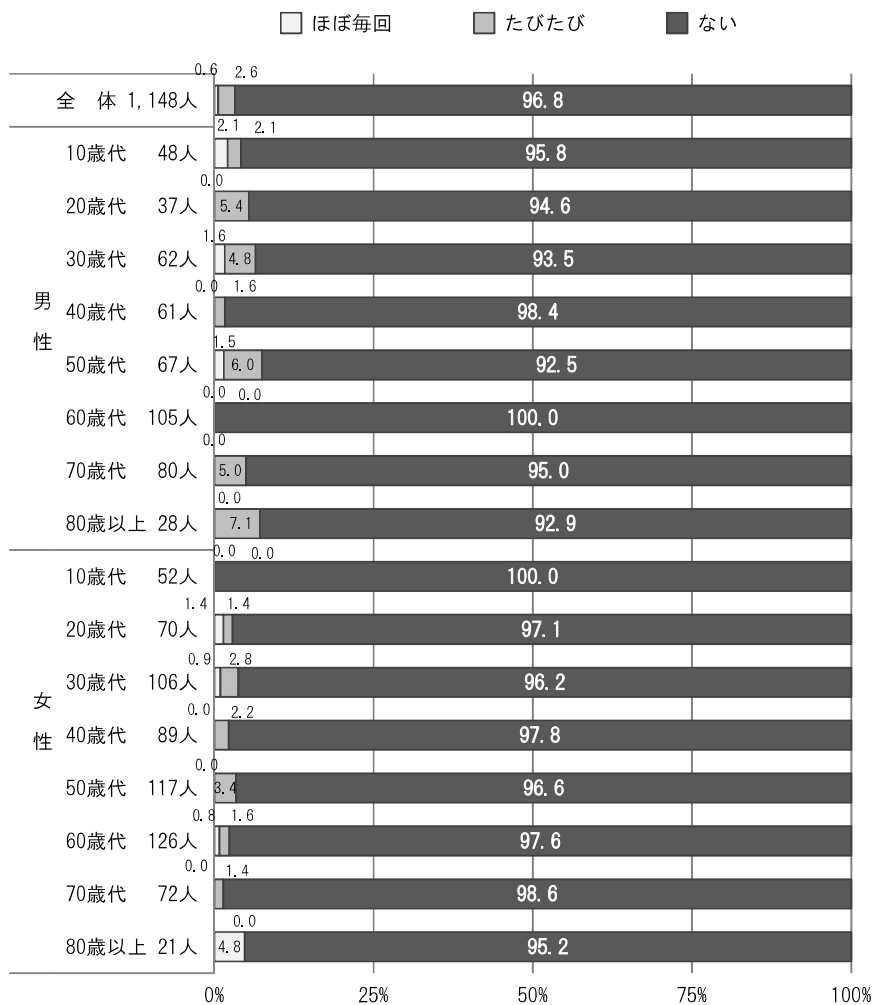
「行政機関」に行った人の受動喫煙の機会を、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると 3.2% となっています。性別にみると、大きな差はみられません。

図 22-カ.1 行政機関での受動喫煙〔全体・性別〕



「行政機関」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男女ともに 90%以上が「ない」となっています。

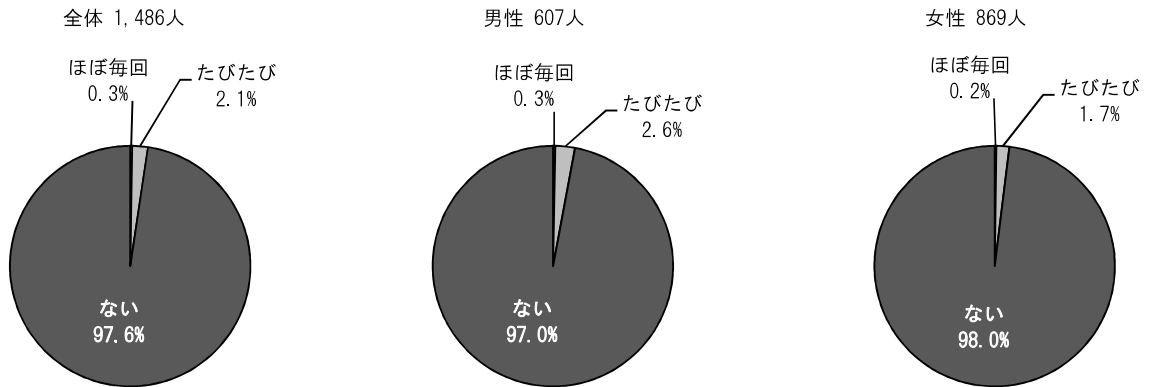
図 22-カ.2 行政機関での受動喫煙〔性・年代別〕



キ. 医療機関（「行っていない」「無回答」を除く）

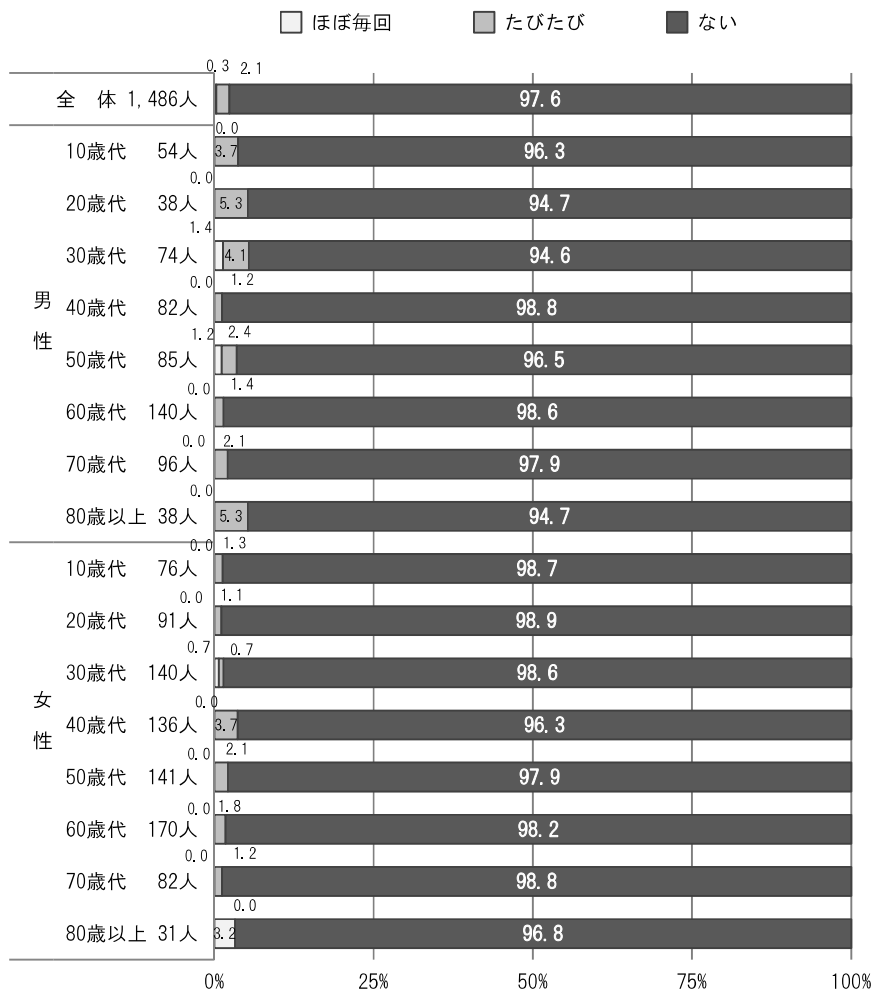
「医療機関」に行った人の受動喫煙の機会を、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると 2.4% となっています。性別にみると、大きな差はみられません。

図 22-キ.1 医療機関での受動喫煙〔全体・性別〕



「行政機関」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男女ともに 90%以上が「ない」となっています。

図 22-キ.2 医療機関での受動喫煙〔性・年代別〕

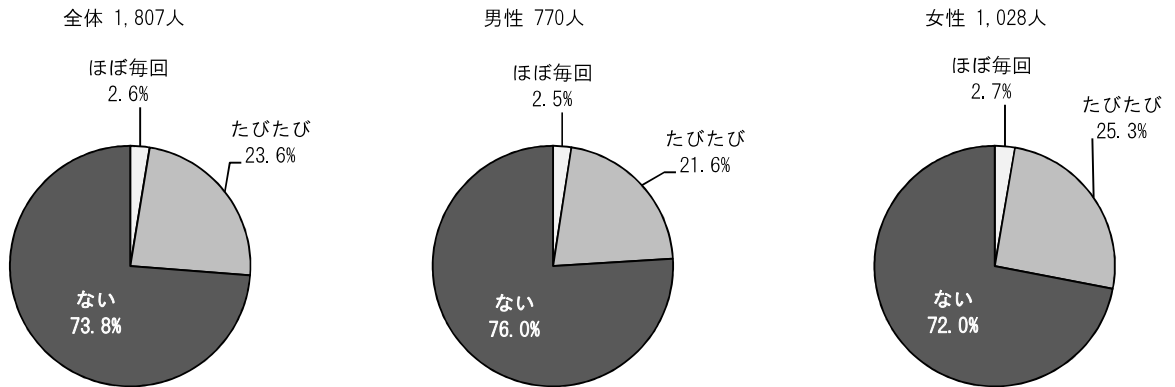


Ⅲ 調査結果

ク. その他（公共交通機関など）（「行っていない」「無回答」を除く）

「その他（公共交通機関など）」に行った人の受動喫煙の機会は、「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせると26.2%となっています。性別にみると、大きな差はみられません。

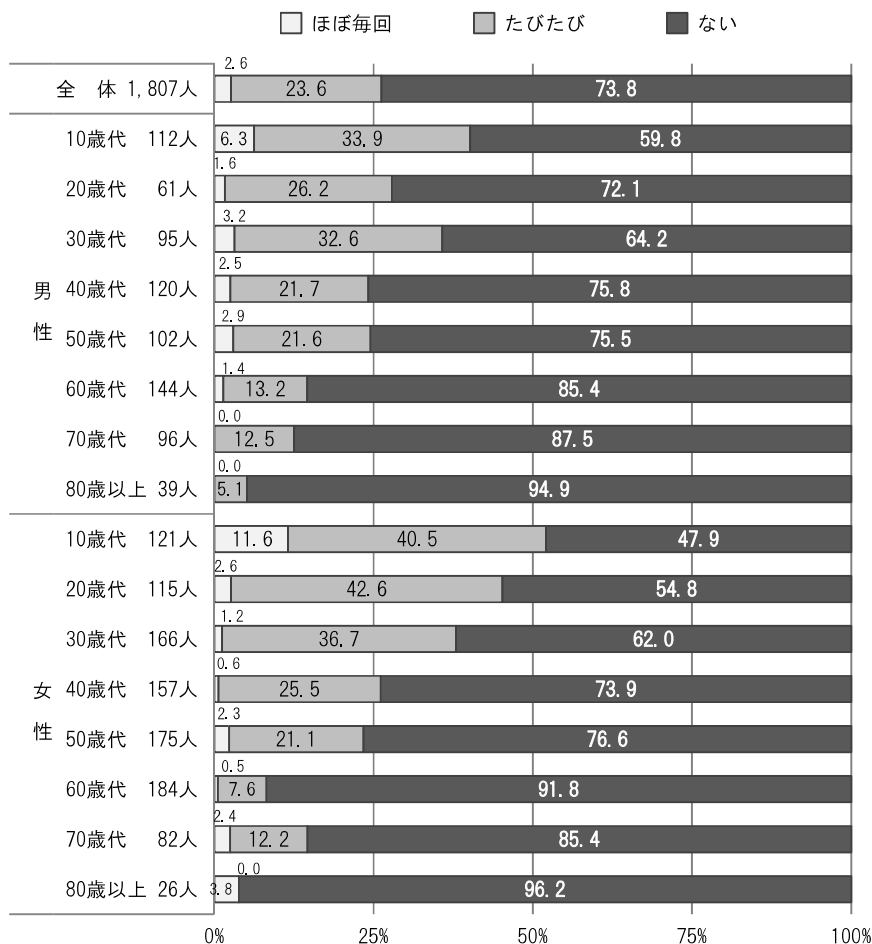
図 22-ク.1 その他での受動喫煙〔全体・性別〕



「その他（公共交通機関など）」に行った人の受動喫煙の機会を性・年代別にみると、男性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、10歳代（40.2%）が最も高く、次いで30歳代（35.8%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。また、60歳以上は「ない」が有意に高くなっています。

女性の「ほぼ毎回」「たびたび」を合わせた割合は、10歳代（52.1%）が最も高く、次いで20歳代（45.2%）、30歳代（37.9%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。また、60歳以上は「ない」が有意に高くなっています。

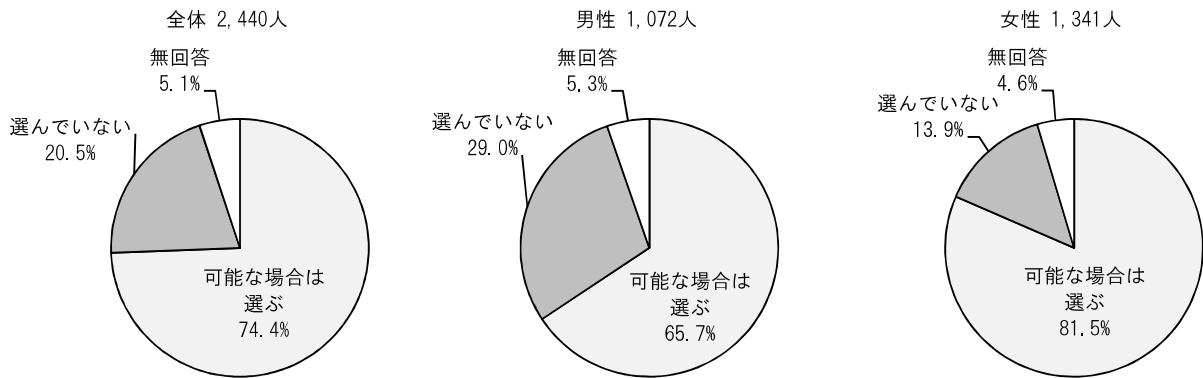
図 22-ク.2 その他での受動喫煙〔性・年代別〕**



問 23 あなたは、人が多く集まる場所を利用する際に、禁煙の施設を意識して選びますか。(〇は1つだけ)

禁煙施設の選択については、「可能な場合は選ぶ」が74.4%となっています。
性別にみると、女性は「可能な場合は選ぶ」(81.5%)が男性より有意に高くなっています。

図 23.1 禁煙施設の選択〔全体・性別〕**



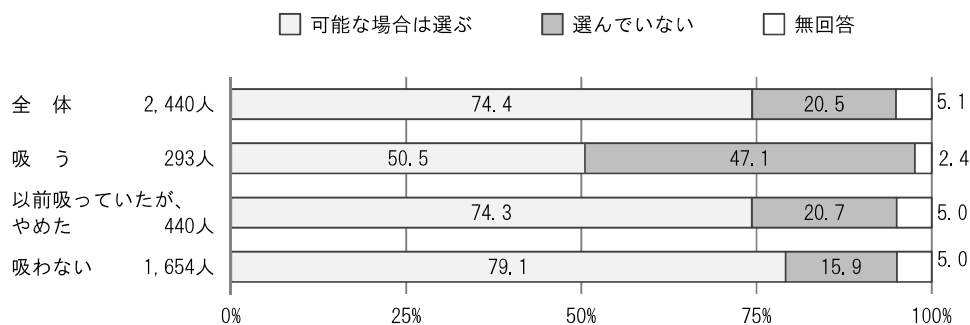
禁煙施設の選択について、H24年調査と比較すると、「選んでいない」割合が2.0ポイント減少しています。

表 23 禁煙施設の選択〔経年比較〕 単位：%、ポイント

項目	今回調査	H24年調査	今回調査－ H24年調査
可能な場合は選ぶ	74.4	74.2	0.2
選んでいない	20.5	22.5	-2.0
無回答	5.1	3.3	1.8

禁煙施設の選択について、喫煙状況別にみると、「可能な場合は選ぶ」割合は「吸わない」(79.1%)が有意に高く、「選んでいない」割合は「吸う」(47.1%)が有意に高くなっています。

図 23.2 禁煙施設の選択〔喫煙状況別〕**



禁煙施設の選択について性・年代別にみると、男性の「可能な場合は選ぶ」割合は、40歳代（71.4%）が最も高くなっています。一方、「選んでいない」割合は20歳代（36.1%）が最も高く、次いで30歳代（35.8%）、60歳代（31.5%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

女性の「可能な場合は選ぶ」割合は20歳代（87.3%）が最も高く、次いで50歳代（86.4%）となっており、他の年代より有意に高くなっています。

図 23.3 禁煙施設の選択〔性・年代別〕**

